

2023.04.02. 事態が悪化する中、私たちにできること

第二ペテロ3章16節－18節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 天のお父様、私たちはあなたが必要です。主よ、今、あなたが必要です。主よ、今朝、私たちが御言葉を学ぶとき、正しく理解できますように。主よ、私たちは、そこから祝福されるのを知っています。私たちに聞く耳を与えてください。主よ、キリストにある兄弟姉妹と一緒に、あなたの御名を礼拝し、賛美するため、あなたが祝福し、この美しい場所を与えて下さり感謝します。イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。アーメン。アーメン。おはようございます。ようこそ。

来てくださりとても嬉しいです。ご着席ください。オンラインでご参加の方も歓迎します。ご参加くださりとても嬉しいです。ある人を紹介したいと思います。よろしいですか？ こちらは私の大切な、大切な友人で、私の幼馴染で、キリストにある兄弟です。幼稚園の頃からの親友です。卒業した後...

JD 牧師：ウォ。ダン：厳しい。 JD 牧師：ちょっとね。

卒業後、私たちは二人ともキリストに辿り着き、スポケーン市のカルバリーチャペルで長年共に奉仕しました。この年月を経て後、私たちはここにいます。彼は今日ここにいて、皆さんに彼を、彼に皆さんを紹介したかったのです。何枚か写真をお見せしたいと思います。おお、なんてこと。第一礼拝にいらっしやった方は、すでにご存知ですが、第一礼拝でお願いしたのと同じことをお願いします。2つあります。いいですか？

1つ目：優しくあってください。お手柔らかにね。2つ目：髪を見ないでください。－(笑)－髪を見ないで、と言ったでしょ。皆さん、スノーモービルの写真、見て下さい。あれは帽子じゃなく、私の髪です。－(笑)－(会衆：ハンサムだわ) どうもありがとうございます。聞こえました？ はっきりしましょう。

「ハンサムだった。」と仰いましたね。「だった」？「だった」って言った？ ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます、エリック。感謝するよ。その下(写真)、彼に髪があるの気づきました？

どうなっちゃたのかわかりませんね。可愛らしい幼稚園の時の写真を見てください。本当に。そうだね。では...ですから、とりあえず。第一礼拝で、彼は少し話しました。またシェアしてもらいましょう。大丈夫？ わかりました。お、ありがとうございます。－拍手－

JD 牧師：君はハンサムだったよ。ダン：以前は誰も手を差し伸べてくれなかったのに。後ろに指定席とったみたいで、どうなってるの？ とにかく、ここに来られてとても、とてもうれしいです。40年前、私はこの素敵な州にいました。ハワイ島に姉妹がいるので、会いに行く予定です。私の家族、私の美しい家族がここにいます。妻のナディア、そして2人の娘、ジゼルとソフィアです。ですから、もし機会があれば、ぜひ彼女たちに会ってください。しかし、でも...そうなんです。JD と私は、すみません、実は彼はね、、、J.D.：彼は秘密保持契約と守秘義務書に署名していますからね。

ダン：そうだね。しかも、今朝話す時間は45分しか与えられていません。というわけで、手短かに、聞いて欲しい話があります。ええ、ありがとうございます。もちろんです。でも、いや、ここへ彼と彼の素晴らしい家族を訪ねられて、とてもうれしいです。でもね、私たちは共に成長してきました。つまり、赤ちゃんの時から、彼なしでの思い出はありません。んー、ですから... でも、私たちは….

JD 牧師：君がそう言うのが大好きだよ。そうだね。いいことも悪いこともあります。とにかく、この素晴らしい場所にいられることがとても嬉しいです。私は、第一礼拝で話しましたが、こんな多くの人が彼が何か言うのを聞きに来るといのは大変な驚きですよ。－(笑)－

JD 牧師：仕方ないからだよ。ロビーで美しい女性と話していて、私にこう言いました。君（JD）はインスタとかでフォロワーが多いのだと。でも...私には.....とても衝撃でした。-(笑)- ともかく、家族と一緒にここに來られて、多くの方々とお会いでき素晴らしいです。ずっと居られたらと思います。あ、私たち、あと 1 日くらいはここにいますけどね。私は何を言おうとしていたんだろう？ ああ、そうだ...ひとつ気づいたことは、ここで改めて気づきました。旅に出るたび、妻がロシア出身ですけど、初めて彼女に会った時のことを思い出します。私たちは、彼女が当時通っていた教会に出席しました。そして、それが今日のことを思い出させました。あなたがどこの出身であろうと、つまり、私たちはここにいて、皆さん、、、ここではみんなおかしな格好で、おかしな話をしている。それは同じでした。しかし、キリストがどのように私たちを結びつけられるか。ええ、本当じゃないですか？ 私がロシアに行った時、同じ賛美を、ロシア語で歌いました。その場ですぐに彼らと絆ができました。それはここも同じ、どこから来ても同じで、キリストの体が集まれば、兄弟が揃えば、美しいことです。ありがとうございます。皆さん、とても歓迎して下さい。「話」を聞いてみたいという方は、はい、お話ししますよ。-(笑)- 思い切り殴られますけどね。

JD 牧師：彼は、この後もう帰らなきゃ。いや、帰りません。時間はありますから。そんな申し出はありがたいけどね。とにかく、皆さんにお会いできて嬉しいです。神の祝福がありますように。皆さんには、素晴らしい牧師がいます。冗談抜きで、そうです。

JD 牧師：ありがとう。うまい一言。そうそう、これでもう一晩、彼の家に泊まれますからね。-(笑)- ここの皆さんは、とても祝福されています。皆さん、とても祝福されています。しかし、私たちはどこにいても、主イエスにあるなら、私たちは全てに恵まれています。それでは、私の話は怎么样い？

JD 牧師：良かったよ。ダン：それは良かった。神の祝福を。

JD 牧師：ありがとう、ウォフイー。-拍手-

それでは、始める前に 2 つほどお知らせします。今週の木曜日、マック牧師が私の代講してくれます。毎月第一木曜日に、通常、私たちは共に聖餐式を行います。今週の木曜日は行いません。しかし、次の日曜日は復活祭の日曜日です。ですから、(第一、第二) 両方の礼拝で、復活祭の日曜日に、一緒に聖餐式を祝うことにします。第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」で、第二礼拝は、復活祭の日曜日の「説教」です。両方の礼拝の締めくくりに、(聖餐式を) 共に与かります。そしてもちろん、それ以降は、第一木曜日の聖餐式に戻します。しかし、楽しみですね。もう復活祭の日曜日だと信じられますか？ もうそこまで来ています。まばたきしたら、1 月だったのに、もう 4 月です。また、このこともお知らせするのを思い出しました。火曜日の夜、7 時からこの礼拝堂で祈り会をします。また、このこともお知らせするのを思い出しました。火曜日の夜、7 時からこの礼拝堂で祈り会をします。可能なら、ぜひお越しになり、参加されるのを勧めます。祝福になるでしょう。来られる方は、教会として一緒に祈れるのは、とても祝福になるでしょう。それでは「第二ペテロの手紙」です。そう今日、第二ペテロを完了します。そうなんです。このタイミング、どうです？ 次の日曜日は、復活祭の日曜日で、そして、そのあとから、「第一ヨハネの手紙」を始めます。そのタイミング、私が巧いと思わないでください。違いますよ。主でした。すごい完璧なタイミングです。今日、第二ペテロを終え、来週は「復活祭の日曜日」で、そしてその後、主の御心なら、「第一、第二、第三 ヨハネの手紙」の学びを始めます。そして、その次が「ユダの手紙」です。その書について今日は少しお話しします。そして「ユダ (の手紙)」の後には、ご存知「黙示録」です。さて、これはもちろん、携挙が先に起きないことが

前提で、それなら良いですよ？ それなら良いのに。OK。では、聖書箇所は、「第二ペテロ 3 章 16 節から 18 節」です。可能な方はご起立ください。座ったままでも結構です。私が読むのについてきてください。16 節から、使徒ペテロは次のように続けます。今、彼は私たちの親愛なる兄弟、使徒パウロを参照しています。ペテロは 16 節で、パウロのことをこう言っています。

ー Ⅱ ペテロ 3 : 16 ー

その手紙でパウロは、ほかのすべての手紙でもしているように、このことについて語っています。その中には理解しにくいところがあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所と同様、それらを曲解して、自分自身に滅びを招きます。

ー Ⅱ ペテロ 3 : 17 ー

ですから、愛する者たち。あなたがたは前もって分かっているのですから、不道德な者たちの惑わしに誘い込まれて、自分自身の堅実さを失わないよう、よく気をつけなさい。

ー Ⅱ ペテロ 3 : 18 ー

(しかし)私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。イエス・キリストに栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。アーメン。

では、よろしければ、ご一緒に祈りましょう。天のお父様、本当にありがとうございます。お～主よ、あなたの御言葉に感謝します。こんにちの私たちのために、この文章を書くようあなたが促された使徒ペテロを感謝します。なぜなら全ての聖句は、私たちに教え、戒め、必要なら方向づけ、さらに保護するためだからです。今日、私たちの前にある、あなたの御言葉のこの箇所もそうです。ですから主よ、いつも通り、聖霊によってあなたにしか御出来にならないご方法で、まず第一に、私たちの注意を引いて下さい。私たちの注意を引かれたら、私たちの思いが迷い、忙しい生活での忙しさに気が散らないよう、注意を保ってください。主よ、私たちは集中し、あなたに全集中したいのです。なぜなら、今日の御言葉の中で、あなたが私たちのためにご用意された事を見逃したくないからです。ですから主よ、あの聖霊の静かな小さな御声で語ってくださいませんか？ 主よ、お語りください。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン。

ご着席ください。どうもありがとうございます。

では、この先週の月曜日から始まったのが、私は、始めにこのような言いようのない動揺を覚えました。いつもしているように、今日の教えを準備し、祈ります。これが起きる時、聖書から離れて、主に尋ねます。私はそうしました。火曜日の朝、理解が深まり始めました。主は、私にお働きになられ始め、この箇所の理解へと祝福下さいました。私がかかったことは、私個人が最近悩んでいることで、物事がいかに悪い方向に進んでいるかでした。その意味を説明させてください。今、すごく悪くなっていています。何を信じればいいのか、誰を信じればいいのか、分かりません。本物か偽物なのかわからない。皆さん、あえてしない。今はもう、あえて SNS に投稿しないくらいひどい状態です。もしするなら、何が起こるか、覚悟しておいたほうがいいです。すなわち、ブロックされて、友達解除です。もちろんその後、彼らはあなたを非難し、それが延々と続き、とても悪くなっていく。日を追うごとに悪化しているようです。それで、主が私にお働きされたこと、それが今日、皆さんにお伝えしたいことです。それは「世の中のあらゆるものが、どんどん悪くなっていくように見えるのを踏まえ、私たちに何ができるか」です。お許しいただけるなら、主がこの聖句で、私の動揺した心をどのように落ち着かせて下さったかを

分かち合いたいと思います。こういう言いようのない動揺を覚えたことはありませんか？ それは、聖

化された動揺ですよ。主がかき回されるような感じです。なぜなら、それがあなたを、主を求めるよう駆り立てるのです。あなたが主を求めるよう、神は、この動揺や不満さえ神聖に定めておられます。主は、しばらくあなたから連絡を貰っておられないかもしれません。ですから、主はあなたからの便りがほしいのです。あなたからの便りが来るのは、主が物事をかき回された時だにご存知です。私たちが主を呼び求めるのは、何かあったときだけです。ですから、主はそのことをご存知で、なぜ主が、動揺させ、苛立たせたりするのか、説明がつきます。それが主のなさったことです。ともかく、主は私の理解の目を開かれました。私たちの理解を深めるため、まず、その背景を少し説明するのが私の責務だと思います。この「第二ペテロ」の学びが、完了に近づいているので、とてもふさわしいと思います。

「第二ペテロ」は「ユダの手紙」の6年ほど前に書かれました。なぜそれが重要なのか？なぜなら、ペテロは「これから起こることを警告している」からです。なぜなら、ペテロは「これから起こることを警告している」からです。ユダは、「もうここにある」と警告します。つまり、ペテロの手紙からユダの手紙まで、約6年という時間差があって、因みにこのことで、皆さん混乱しませんように。彼の名前は、正確にはユダス/Judasです。言ったでしょ？ 混乱するって。ユダスは、ヨセフとマリアの間に生まれたイエスの異父兄弟です。知恵だと思います。慎重さが伺えます。「ユダの手紙」は、もちろん、靈感によって名前をつけずに書かれました。なぜなら誰が読みたいですか？「マジでユダ？同一人物じゃないの？」よろしいですか。これはユダス/Judasです。ユダス/Judasは、イエスの異父兄弟で、ヤコブもそうでした。なぜそれを指摘し、強調するのか？なぜなら「ヤコブの手紙」の学びにおられた人、あのことを覚えていますか？あの時の傷跡はありますか？なんという「書」でしょうか。「お～主を褒め称えます！」と言って、読む書ではありません。皆さん、こう言ってヤコブ書から離れましたね。「ほ～！！私はまだ救われているの？わからないよ。」つまり彼は、真正面から語ります。それが「ユダの手紙」にも言えます。そしてそれは、ペテロがここで書いている別れの言葉と実によく一致します。このことを考えて下さい。ペテロは、自分の日数が限られていると知っています。彼は今、この人生で最後の呼吸をし、主の御前で、永遠の命という最初の息をしようとしています。この全てについて、神は、聖霊によって、ペテロに何を導かれ、書かせられたのか？それがこれ？警告ですか？私だったら、このことより、むしろ他の話をしたいです。でも、違います。死の間際になると、人は現実を直視しませんか？それが、聖霊の導きによってペテロがここでしていることです。ですから私たちは、この警告を心に留めるのが良いと思います。

質問：何を警告しているのか？ 答え：偽教師が増えること。

パウロが言及するように、偽の教え、偽の教義、悪魔の教義です。ペテロとそれに続くユダの警告は、このような偽りの教師が存在するようになることです。彼らは聖書を曲解します。

「あなた方に聞いてほしいのは、私（ペテロ）はもう長くはいられません。私からのこの警告をあなた方に覚えておいてほしいのです。私はあなた方を本当に愛しています。あなた方に、このことを知ってほしい、気付いてほしいのです。私はあなた方に、このことについて警告せねばなりません。神の御言葉を捻じ曲げ、曲解するような者が入って来ます。ひっかからないでください。騙されないでください。」

さて、私の主との時間で主に問う中、ペテロの手紙から、ユダの手紙のこの6年という時間差を熟考しました。さて、私の主との時間で主に問う中、ペテロの手紙から、ユダの手紙のこの6年という時間差を熟考しました。

で、今から6年前に戻ると、2017年という年でした。お付き合いください。これを考えて下さい。

2017年から6年経ちます。2017年当時、どうだったか覚えていますか？ 2017年以降、限りなく悪化していることに納得していただけますか？（会衆：はい）

誰が知ってましたか？ ええ、神はご存知でしたが。つまり、2020年、そこですべてが変わります。そして突然、一夜にして、事態は悪化の一途を辿り出しました。変わってしまって、二度と元に戻ることはありません。なんということでしょう。このように、人々を迷わせる偽教義をする偽教師たちの存在が溢れ、顕著になっていて、まさに、神の御言葉で言われている通り、彼らはそうします。そこで今回、共に過ごすこの時間、この終わりの時の混乱と欺瞞の猛攻撃に対し、実践的で、より重要な、聖書的3つの方法について話したいと思います。皆さんが私の考えを尋ねるなら、、、いや、先走ってしまってますね。あ～、待ちましょう。誰かにそんなことされるの大嫌いです。「あっ！....待って。でも言えない。」何だよ～～！！ 話します。あとでね。

ではまず1つ目は、16節にあります。「曲解を見極める」

理由があって、その言葉を選んでいきます。ペテロは、パウロの手紙を再び愛を込めて参照します。ペテロが基本的に言っているのは、パウロの手紙は、理解しにくいところがあると書かれています。このことはある意味、そういう者たちに許可、ライセンス、言わば許可証とでも言えるものを与え、使徒パウロの理解しがたい文章を取り上げる。パウロは破格の知性がありました。彼らはそれを、ねじ曲げ、曲解し、誤解させる条件に利用しています。その結果、ペテロが彼らをこう呼ぶように、無教養で、不安定な偽教師たちを磁石のように引き寄せてしまいました。ですから、彼らはこの空白を埋めるために登場したと言ってもいいです。彼らは何をしたのか？ 彼らは聖書を曲解し、歪めます。

この distort/曲解するという単語、新約聖書原語のギリシャ語で、捻じ曲げ、さらに歪曲させ遠くへ引き延ばし、手足が脱臼するよう位置を変える意味を伴います。それが彼らのしていたことです。彼らは神の御言葉を取り、それを捻じ曲げていました。歪ませ、引き伸ばし、そして脱臼させ置き換える。彼らは人々を欺いていました。ペテロが警告しているのは、

「見極めなさい。見識力を持ちなさい。無知であってははいけません。見極めなさい。そんなに騙され易くはいけません。そう、この者たちは未熟なクリスチャンには魅力的だから。彼らにとっては、手に入れやすい果実です。」

「使徒の働き 20章」で使徒パウロが語る通り、彼らは未熟なクリスチャンを食べ物にします。かなり感情的で強烈です。使徒パウロは.....私たちの頭の中には、使徒パウロがどんな人物であったかというイメージがありますが、この人物は、きっと間違いなく尊敬の念を抱かせました。でもこの人は、心優しく、とても感情的で、情熱的だと私は想像します。「使徒の働き 20章」でパウロはこう言います。

「3年の間、夜も昼も、泣いて（涙とともに）...」（使徒の働き 20：31 参照）

なぜなら彼は、自分が去った後、ペテロやユダや彼ら同様に、多くの人が話す者たちがやってくると知っていたからです。彼らは羊の皮をかぶった狼で、群れを惜しまない。そして、パウロはその者たちが彼らを食いものにするのを知っていました。あなたがたには常に狼が分かります。なぜなら、彼らは弟子たちを自分のもとに引き寄せるからです。それがリトマス試験（判断基準）です。パウロはそう語りここでペテロは、使徒パウロに言及し、愛を持ってですよ。先週もその話、パウロとペテロの関係について話しましたね。彼らは互いにとても愛し合っていて、この人たちは、一緒に多くのことを乗り越えてきました。ここで彼らは、人生の終盤を迎え、群れに警告を発しています。見極めを持つ。クリスチャンは、本質的に信じやすいです。本来、それが羊です。言い方はマズいですが、彼らは簡単に騙されます。ここでペテロ

は、「見極め、霊を見分けること」への警告のまさに適役と言えるでしょう。神は、私たちに見極めを与えてくださっています。私たちは見極められます。どうか、どうか、どうか...

こうなると、敵はまさに絶好調です。なぜなら、敵は「見極め」と「裁き」を同義にしているからです。

「裁いてはいけません！」と。待ってください。イエスが仰る文脈での「裁き」は、「非難するな」という意味です。しかし主は、健全な判断力、見極めを持つな、とは仰っていません。実は、その逆が正しいのです。私たちは、見極めることを勧められ、命じられてもいます。私たちが迷わないように霊的な見極めを持つこと。そのことを次にお話しします。

この歪曲の餌食になったクリスチャンがどれほど多いか、一目瞭然です。それは、混乱の作者、兄弟の告発者、偽りの父から来ます。使徒パウロは、コリントの教会宛の手紙(1 コリ 14:33)で、「神は混乱の作者ではない」と述べています。言い換えれば、これが「見極め」ですよ。それが混乱なら、主ではないことを見極められます。神は混乱の作者ではあられません。それが、霊を測り、テストし、霊を見極めるための基準であるべきです。このような者たちに狙われないように、見極めてください。ここからが本題ですが、皆さん、終わりの時、それに比例して、預言的に悪化していきます。それがサインです。

第一礼拝でお話しました。1番のサインは、イエスが来臨され、私たちが主の教会として携挙される前の、終わりの時の兆候は、それが何か分かりますか？「欺瞞」です。「惑わし」です。騙されないでください。とても強力で、とても強いですイエスは仰いました。

「選民さえも欺くことができるほど強力で、実際に日数を短くしなければ、どんな肉にある者も生き延びられません。」(マタイ 24:22 参照)

それほど強力な欺瞞です。使徒パウロ、「惑わされてはいけません。」「惑わされてはいけません。」「惑わされてはいけません。」

ペテロ、「惑わされてはいけません。」「惑わされてはいけません。」「無知であってなりません。」

叫んでしまって、ごめんなさい。怒ってませんよ。少しは怒ってるかも。怒ってしまいそうです。「怒ってますね」と人に言われて、怒っていると続けられたら、怒りますよね。OK。気分が良くなったので、1~2 トーン下げます。聖書には、このような警告が繰り返し記されています。サタンの戦略や策略に無知であってはいけません。無知であってはいけません。騙されないでください。騙されるのではなく、見極めてください。あなたは欺瞞を見極めることができます。ヤコブが書いているように、神は、私たちに上からの知恵を与えてくださっています。

— ヤコブ 3:17 —

上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、あわれみと良い実に満ち、偏見がなく、偽善もありません。

— ヤコブ 3:18 —

義の実を結ばせる種は、平和をつくる人々によって平和のうちに蒔かれるのです。

それは、素晴らしい雛形ですよ。何かがやってきたら、自分自身に問いかけて下さい。あなたはあらゆる思いを捕らえ、その霊を試さなければいけません。誰かがやってきて、あれこれ言います。待って、待って。そう急がずに。誰かを指さしたら、ごめんなさい。そんなつもりはなかったのに、下を向きます。そんな急がずに。これをテストしてみましょう。「テストって何？」神の御言葉と一致してますか？ 神の御言葉と一致していなければ、どうです？ 主ではありません。簡単な話です。残念ですね。

おお、あなたは考えた。あ、そういえば、こんな話もしました。きっとこの機に、改めて話すのが良い機

会でしよう。非常に重要なので、お聞きください。そういう者たち、聖書を歪め、曲解する偽教師たちは、自分を滅ぼす危険を招きますけど、彼らは、未熟なクリスチャンを1マイル先から嗅ぎつけることができます。逆に、成熟したクリスチャンを1マイル先から見分けることもできます。そう、ここに未熟なクリスチャンがいて、取りやすい果実です。で、あっちに成熟したクリスチャンがいると、どうなります？彼らは、見極められる成熟したクリスチャンから、できるだけ離れます。彼らは、未熟なクリスチャンを餌食にします。なぜなら、未熟なクリスチャンは、騙されやすく、見極められないからです。「第一歴代誌12章32節」、具体的に次のように記されています。

#### ー | 歴代誌 12:32 | ー

イッサカル族からは、時を悟り、イスラエルが何をなすべきかを知っていたかしら二百人。その同胞はみな彼らの命令に従った。

これだけでもね。つまりそれが、本当に全てを物語ります。説明しましょう。ここには二重の意味があります。

1つ目：見極めること。

まず、彼らは「時」を見極めることができました。彼らは「時」を理解していました。それが1つ目です。

2つ目：そのままにしない。

彼らは、自分たちがいる「時」に、何をすべきかを知っていました。私たちはクリスチャンとして大きな間違いを犯していると思います。自分も含めてです。私もその傾向が強いですから。しかし私たちは、見極めが必要で、でもそれに対して、またはそれと共に、私たちは何もしません。その理由はいくつもあります。「聖書預言・アップデート」で、その内いくつか話しました。そのひとつが、人への恐れです。もうひとつは、自分一人で立つことへの恐れです。これが敵のやり方で、敵はそれが大変巧いです。敵がやってきて、、、こんな感じに聞こえます。私の言っていることが皆さんよくわかるはずですが、敵がやって来て言います。

「それを言ってるのはあなた一人だけ。それを信じてるのはあなた一人だけ。あなただけで、あなたは間違っている。」

「そうか、私は……」「実際、あなたは負けます。」いや違う話ですね。敵は皆さんにもそう言います？「はい」と言って、私に合わせて下さい。「あなたは負けている。頭がおかしくなっていますよ。あなたは……あなたは……。」

違います。聞いてください。この描写を使ったことがありますけどまた使います。最後まで聞いてください。この件について、調査や研究がありました。若い生徒が集まっている教室で、全員がこの実験に参加します。先生が黒板に「 $2+2=5$ 」と書きます。一人を除いて、全員が手を挙げます。なぜなら、これを試されているのは、一人だけだからです。なるほど、それが私みたいです。ともかく、クラスの中で。私にされそうなことでもんね。私に厳しくありません？ ウォフィー（ダン）、そうだったよね？ 君もきっとそうだったかな。そのクラスで1人の生徒だけに。彼は思います。「いや、違う。いや、違う。」と。では、合図とともに、 $2+2=5$ の人、手を挙げて下さいと言われ、皆が挙手する。

するとその生徒は手を上げようとして、「違う。」その先生が、もしかしたらこんなことを言うかもしれません。「 $2+2=4$ 」と信じている人は、手を挙げなさい。私は手を挙げるでしょうね。私一人だけ？ みんながあなたを見ている。敵はそれをしてきます。

ではもう一度、2020年に戻りましょう。2020年になった時、それしか言うことはありません。ただそう言います。それが私の言う全てです。それだけです。それ以上言わなくいいですね？ もう皆さんお分かりですね。2020年になった時、皆さん、私と同様に、覚えてますか？ 私たちは、

「あ～、あ～、あ～、何か正しくない。」と思いましたね。あなたの聖霊のチェックが入ります。それが主です！ それを、「見極め」と呼びます。それが呼び方で、それがそのための言葉です。実際、私たちの幾人かは、疑問を持ち、見極め、試しました。私たちには見極めがありました。他のみんなは、2+2=5になる。私たちは、「いや、それは違う！」です。前回、確認しましたが、自分が愚かであることは知っていますが、そこまで愚かではありません。聖書には「愚か」という言葉があります。気を悪くしないでください。「愚か者！」と言うのは気分良くないですか？ ただ、気分がいいです。OK。もう言うのはやめておきます。たぶんね。でも私は、この諺みたくではありません。「台所の引き出しにある一番鋭いナイフ」(頭の回転が速い)でも、何か臭うんです。何か違和感がある。ですから、神はあなたにこの見極めを与えられています。ではそれをどうするのか？ 何かするつもりですか？

「イスラエルが何をなすべきかを知っていた。」(II 歴代誌 12:32)

ですから、神は彼らに見極めをお与えになり、彼らは「時」を理解できます。神は、彼らが見極めで何をするかその見極めと共にセットで与えられます。それは自分の信仰に足をつけることです。言ったことを歩みに移すことです。それは行動と一緒にです。繰り返しますが、ヤコブが語っています。これは目が見開かれるような強烈な描写でしたね。信仰に伴うのは、

「信仰も行いを欠いては死んでいるのです。」(ヤコブ 2:26)

「水」=H<sub>2</sub>Oの描写が思い浮かびます。あ、違う。いえ、そうです。2つを混ぜ合わせると水ができます。水素と酸素で。信仰と行いを混ぜ合わせて、活性化させなければならない。この見極めは、主からです。主はあなたに、その見極めをお与えになられています。では、それをどうしますか？ 2つ目は、手を携えて、17節にあります。シンプルに「油断は禁物」

私たちは、油断してしまうんですよね。また、私たちはとても信じやすいですが、ここでペテロが警告しているのは、このような全てを知ることが、私たちが常に警戒する必要な効果がある事。こう言ひましよう。ひっくり返してみます。決して、絶対、油断しない。特に、こんにち、私たちがいるこの世界において。決して油断してはいけません。

そう、もう一度、敵にあまり手柄を立てたくないですが、私たちが極端になって、敵のせいだと考えなくなる事。全ては敵の計画、悪魔の策略ですよ。敵は、私たちがどちらかの極端にしたいのです。

こっちの極端は、サタンは非常にパワフルで、神の対極だと考える。彼は神の対極ではありません。こっちの極端は、サタンが赤いタイツに熊手を持った、肩に乗るようなかわいいキャラクターにする。それはしないでください。どちらの極端でもありません。私たちは、サタンをパワフルにしすぎるか、まったくパワフルでないかどちらかにしてしまいます。そうなれば、サタンにとって、これ以上嬉しいことはありません。こんな感じです。お付き合いください。最善を尽くします。私たち誰しもが人生で、

そういう弱さがある、その分野で、私たちは葛藤し、脆弱になります。敵は、私たちが研究しているので、それを知っています。敵は、獅子が獲物を見張るように私たちに付きまとい攻撃する最適な時を待っています。敵は、うろついて、待っている。敵は忍耐強いです。私たちよりも忍耐強いです。特に私よりも。(敵は)慌てず心配せず、ただひたすら待つ。敵はJDを待っています。なぜなら、そう、私たちは自分が弱い分野を補って、強い分野は蔑ろにします。これが使徒パウロがコリントの信徒に宛てて書いた



ことです。

## ー 1 コリント 10:12 ー

**立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。**

なぜ、私たちは、最も得意とする分野で失敗するのか？ なぜなら、油断するからです。

「ええ、私は、そこは得意ですよ。」すると、弱点に、私たちの人生で、葛藤する脆弱なところに焦点を当てます。ですから、サタンは今や、私たちの注意をそらし、私たちを油断させ、思いもよらない時、私たちは体制を整え、油断しないようにしますが、サタンは「ブハハハハ〜」です。そんな感じです。

サタンは、霊の領域において気付かないうちにやってきます。サタンは、私たちが油断しているから倒れさせます。何度も言いますが、これを言うとき自分を戒めます。決して、絶対に、絶対に、油断してはいけません。私たちは人生で、今、人類史上かつてないほど、油断を許さない時代に生きています。

油断は禁物です。油断すると、起こるのは、、、これで次の章が書けます。

人は「誘い込まれ」ます。(II ペテロ 3 : 17 参照)

私が毎週しているような「調子に乗る」という意味ではなくて、誘い込まれ、言わば、道を迷わされます。ペテロがここで言うことは非常に興味深いです。見逃さないように、誤解しないようお願いします。彼がこれを言う時、ある翻訳ではこう表現しています。安全な場所から落ちる。彼が言っているのは、あなたが確立した不動心から脱線する事。それを説明します。

あなたは、キリストにある安全なところから落ちることはありません。救いを失うことはありません。一度救われたら、救われています。生まれ変わったのなら、生まれ変わっていないになり得ません。なぜなら、考えてください。私たちはこのことについて話しましたね。これは、聖書を曲解し、ねじ曲げ、歪める者たちのこういう攻撃です。

「一度救われたら、常に救われているのは誤りだ〜！！」

いいえ、あなたは偽物だ！ どうですか？ なぜなら、あなたが正しいなら、それがどういう意味かわかりますか？ それは、自分の救いのために行いをしなければならぬという意味です。

「おお、いえ、我々は恵みによって救われている。」違う違う、あなたが言っていることではない。残念だけど。私たちがしていること、あなたが言っていることは、

「OK。そう、私は恵みと信仰によって救われたから、行いによるのではない。」しかし、あなたが言っているのは、私には救いを失う傾向があるという意味。つまり、それを維持するため行いが必要であるという意味。さもないと、保証された救いから落ちてしまうと。いいえ、違います。これは霊的成長です。確立された不動心が脱線する。このように言わせてください。油断すると霊的成長が妨げられます。あなたは救われています。でも、成長していませんなぜ成長しないのか？ なぜなら、迷わされたからです。そして、脱線している。ですから、不動心、勢い、霊的成長が、、、ちなみに、この後見るのは、

「主の恵みにおいて成長する」それがペテロの締めくくりです。待つ。待つ。待つ。言うのは簡単ですよ。本当ですか？ 自分にも言ってみます。私たちは書を最後まで読んだら、形式的だとしてそのまま読み過ごします。映画と同じようなものですね？ 長いこと映画に行ってませんが、映画のエンドロールを見ますよね。みんな出ていきます。エンドロールを見て、「待て。ポップコーンちょうだい？」という人がいますか？ もう終わりです。照明がついて、「お〜もう重要じゃないね。」私たちは、それを聖書でしてしまうんです。そうなんです。私、やりすぎました？ それが私の最高の描写です。もっといいのがあれば、教えてください。メールください。いや、メールはしないでください。

でも、この手紙の最後に、パウロは締めくくっているのに、私たちは「よし、これで終わり。」照明がつかず、でも、それをしないでください。なぜなら、神のすべての御言葉は靈感によるものだからです。理由があって書かれています。では、この警告と忠告の理由は何か？ ここで問題になっているのは、あなたの救いではなく、あなたの霊的な成長です。それは、あなたが「キリストの恵みにおいて成長し、成熟すること。」それが3つ目、最後の言葉、18節です。

ペテロは、例によって、最終的な答えを提示することで、それを徹底的に教えます。これはまた実用的で聖書的で、悪化していく中、私たちにできることです。ちなみに、それは「事態が悪化することを知っている」という前提です。耐えられません。イエーイ、元気はつらつ。そうなんです。皆さん知っていますね？ 私は、私の特権で毎週この説教壇に立って皆さんにこうは言えません。「さあ、物事は良くなりますよ〜。」そうではないからです。事実、悪化していきます。悪化していつまでも。私の聖書はそう語ります。ヒゼキヤの次の節を探しているのですが、その節を知っています？ 清潔は敬虔に次ぐ、とか、神は自ら助ける者を助けられる、とか。聖書にありますね？ いいえ、ありません！

こういう節を探しています。幸せな日々が〜またやってきた〜🎵 聖書にはありません。ここにはないです。「お〜、なんとお先真っ暗。」わかっています。賜物です。でも、それがペテロが言っていることです。彼は言います。聞いてください。「あなたはキリストの恵みの中で成熟し、成長する必要があります。さもなくば、これから起こることに対して、あなたはカモにされます。」

早送りして、6年後。2017年だったら、今は2023年です。6年ですよ？ よかった、OK。

6年後の2023年になって、こういう感じです。「ほ〜！私がキリストにおいて成長し、成熟していなければ、地獄でした。」今起きていることは？ 悪化している？ あなたはそこで、さらに悪くなるということですか？ 今日、他の教会に行けばよかった。この教会に来るんじゃなかった。しかし、それは保護内臓です。保護機能内臓です。あなたは間違えようありません。そういう言い回しです？ 皆さん、、、お、よかった。ともかく、そう言うことにしましょう。(苦笑)

もしそうでなかったら、後で教えてください。実際は、後で言わないでください。これで、今、あなたは封印され(守られ)絶対安全です。防水をご存知ですね？ どうです？ 皆さん、わかりますよね？ わかったら、教えてください、この憂いを終わらせますから。つまり、防水加工を施したようなもので、キリストにおいて成長し、成熟したとき、絶対安全となります。ペテロはこう言います。

「私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストの恵みと知識...」なぜ区切りがあるのか？ はい、恵み。私たちは恵みを知っています。私たちは、その性質上、定義することができない恵みを定義しようとしません。ですから、不相応の好意 と言います。それだけでは、まだまだ足りません。

「神の恵み」「神の慈愛」と同居します。ある人が言ったように、神の恵みとは、自分にふさわしくないものを神がお与えになることで、神の慈悲とは、あなたにふさわしいものを神がお与えにならないことです。私は両方頂きます。両方必要です。ペテロは、聖霊によって、注意して区別します。

恵みと、知識=ginosko/ギノスコ(ギリシャ語「知るようになる」)なぜそれが重要か？ その理由は、御使いがマリアに現れ、彼女が子を宿し、世の救い主を産むと告げたのを覚えていますか？ ご想像の通り、彼女はただ困惑し、戸惑って、このような質問をします。

「あなたは、間違ったファイルを選ばれました。なぜなら、私は男の人を知りませんのに。」(ルカ 1:34) 彼女はギリシャ語でとても興味深い単語を使っています。

ginosko/ギノスコ(ギリシャ語) 経験知という意味です。同じ単語が、興味深いことに、お付き合いください

い。「マタイの福音書7章」で、イエスが教えを説かれた時、多くの者がわたしに（来て）言うでしょう。

『主よ、主よ。...（マタイ 7:22 参照）...わたしは（そのとき、彼らにはっきりと）言います。『わたしはおまえたちを全く知らない。（不法を行う者たち、）わたしから離れて行け。』（マタイ 7:23 参照）

同じ単語です。イエスが仰ったことは、マリアが言ったことと同じです。

マリア：「私は男の人とそのような経験がありません。霊的な受胎が起こり得る、言わば、霊的な交わりです。親密になったことはありません。」

イエス：「あなたはわたしを知っていると言うかもしれないが、わたしたちには、新しい命が宿ったことはない。あなたは全く生まれ変わっていない。神の御言葉の種は、あなたの心の受胎能力と出会わず、実を結ばなかった。」

それが、ペテロの言っていることです。私たちは、このイエス・キリストの経験的知識において成長する必要があります。私たちは恵みによって救われます。そこで止まらないようにしましょう。それが、多くのクリスチャンが、救われても成長せず、実を結ぶことがないという問題では？ 主とともに歩んできた期間が短いクリスチャンもいますが、彼らは、主のために燃えて、どんどん成長し、輝いています。(growing-going-glowing)韻を踏みます。そして、他のクリスチャンと対比して、主と共に歩み、130年前に救われた人。-(笑)- オッケー、やりすぎですね。何年も前に救われ、今もミルクを飲んでいますが、もうとっくに教えてるはずなのに。でも、彼らは成長せず、歯も生えず、まだ赤ちゃんだから肉も食べられない。「ヘブル人への手紙」にありますよ。ヘブル書の学びを覚えていますか？ なんだかヤコブ書みたいですね。こんなTシャツを作ればよかったですね。

「ヤコブ書とヘブル書をやり遂げ、生き延び、そのことを伝えるために生きている！」厳しい書でしたよね。厳しい書です。良い内容ですけど。でも、ヘブル書の著者は、そう、ありのままを語ります。ほとんどこんな感じです。「恥を知りなさい。まだミルクを飲んでいる。もうそろそろ教えられたらうに。あなたがたは成熟してません。まだ赤ちゃんのように授乳が必要です。成長する必要があります。」

（ヘブル 5章参照）

あの、あの、あ〜もう一度してみます。皆さんの優しさに感謝しますよ。ですから、生まれ変わり新生する。どうやって生まれ変わったとわかるのか？ なぜなら、生まれたとき、誰かが生まれてきたのが分かります。私たちの子どもたちが生まれたとき、生まれたことを疑いません。ですから、誰かが生まれ変わったら、何の疑問も抱かないはずですよ。なぜなら？ 彼らは欲して渴望するからです。私たちの子どもについて話しましょう。私にとって本当に大変でした。彼らはずっと授乳して欲しがりました。

私は、妻のところに連れ行って、「授乳、さあ授乳して。」いいですか？ キリストにある赤ちゃんも同じです。生まれ変わって、乳幼児のあなたは、ミルクを渴望します。しかしその後、あなたは成長し始め、主において這うようになります。そして、主とともに歩み始めます。そして、成熟し、年を重ねるにつれて、目の前のレースを走り始めます。この成長過程がわかりますか？ こういう描写で申し訳ないのですが、身体的に発育不良や障害がある場合、ちなみに、これは重要です。ハンディキャップは、使わないでください。その由来をご存知でしょうか？ 手にカップを持った物乞い。ハンドインカップ（手の中にあるカップ）そう、ハンディキャップは使わないでください。障害。彼らは障害があります。いいですか？ 生まれつきの先天性障害ということもあります。彼らは成長も成熟もできません。

では、それを霊的な領域に移してみましょう。クリスチャンにも同じことが言えます。彼らは生まれ変わりました。新生したのです。しかし、それはほとんど霊的な先天性障害のようなもので、彼らは成長せず、

成熟することはありません。そして、彼らは乳幼児のままミルクで過ごします。ほ～、私は思います。私はステーキが大好きで、ただ、そのために成長します。ステーキのために、私は成長しますよ。私たちは成長しますね。もちろん、ネガティブな意味合いもありますけど、真実は、ペテロは基本的に、その書簡を通して言います。

「成長しなさい。そう、主の恵みにおいて成長しなさい。成長しなさい。」ウォフィー、私と君は、何度、これを聞いたっけ？「成長しなさい。あなたたち、成長しなさい。あなたたちは本当に未熟です。」そうですね。成長したくなかったけど、ならざるを得なかった。しかし、霊的な領域で成長してください。成長してください。そうしてくれる？ 成熟しなさい。あなたがたはとても未熟です。成長する必要があります。

**私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。(II ペテロ 3:18)**

最後にひとつ。これは「終わりの時」にも適用できます。その理由は、解釈学的に矛盾がないからです。実際の私よりも賢そうに聞こえる大変洒落た言葉です。基本的に、聖書が聖書を解釈する。ですから、聖書と一致します。聖書全体を解釈学的に捉えると、聖書が聖書を解釈します。その忠告の適用はこうです。終わりの日についての聖書預言の多くに合致します。特に「第二テサロニケ2章」、私たちはよく話しますね。第一礼拝でそれについて話しましたが、使徒パウロが、テサロニケの教会に言ったのは、終わりの時、強力な惑わし、強力な欺瞞が起これ、この妄想と欺瞞は、とても強くなる。その(特定の)真理を拒絶した人は、嘘を信じるようになる。それはかなり強いです。かなり強力ですね。ですから、成長して強くなった成熟した人ではありません。こんな言葉を聞いたことがありますか？ 神の御言葉なしの1週間(week)は、人を弱く(weak)する。言葉遊びはわかりましたか？ 説明やスペルが要りますか？ 命のパンの神の御言葉なしで1週間(week)を過ごす、弱く(weak)なります。私たちクリスチャンは、その強さをどこから得ているのか？

信仰は、聞くことによって始まります。(ローマ 10:17)

神の御言葉を聞くことによって。あなたは強く成長します。御言葉の内にいない？ 祈りの中にいない？ なら、あなたは弱くなります。サタンは、やはりとても忍耐強いです。

「OK。いいね。彼は1週間、御言葉にいないぞ。お前たち準備はいいか？ スタンバイだ。」彼はどんどん弱っていきます。そして、襲いかかる。どんどん強くなっていくのとは対照的です。じゃあ、最後にもうひとつ、これが私の最後の締めくくりです。使徒パウロが、ガラテヤの教会に書き送ったときのことをご存じでしょうか？

**「御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。」(ガラテヤ 5:16)**

若いころの私は、いつも悩んでいました。じゃあ、歩むとはどういうことなのか？ まあ、肉の欲望を満たしたくはないけど、御霊によって歩むって？ その意味は何？ それはどういうものか？ その様子を説明します。あなたは聖霊に満ち溢れ、聖霊によって強められていると、肉の欲がなくなります。では、食べ物の例えを使います。私の好きな例えです。ジャンクフードでお腹がいっぱいになると、本物の食べ物が食べられなくなります。身体的に、ですよね。あなたが夕食に招待してくれて、招待しないでくださいね。お受けできません。しかし、あなたは仮に私を招待する。運転の途中、私が運転する場所、わかりますね。(会衆から：タコベル) そう、どうもありがとう。-(笑)- 私は、可哀想な皆さんに何を

してしまったのでしょうか。すると話しかけて来ます。「JD～、どこに行くの～？おいでよ。」

私は耳を傾け、スピードを落とします。彼らは、こんなグルメな食事を作ってくれているのです。プライムリブ、7皿の全コース料理。彼らは一生懸命作ってくれて、、、しかし、ここで肉が頭をもたげ、私の言語で話しかけてくる感じです。「さあ、JD～、タコスが食べたいのは分かってるだろう？ ー(笑)ー聞き入れてしまい、引きずり込まれ、12 パック食べる。ー(笑)ー え、何、やったことないの？ ー(笑)ー ー 本当？ せっかく教会にいるんだから、正直になってくださいよ。ー(笑)ー それで、その後、ああ、私は.....私は何をしたんだろう？ 今まだ、あなたのところへ行く途中です。到着すると、これが、なんと天の食事のようなのです。

「ああ、JD 牧師～来てくれてありがとう。どうぞ座ってください！」「ご馳走ですね。」といい、私は（満腹で、吐き気）ー(笑)ー ひっくり返して、締めくくりましょう。そうじゃなくて、私があなただけの家に行くと、私は豪華で、素晴らしいディナーを食べます。わあ～！ お腹いっぱいです。（満たされています。）それからタコベルの前を通ります。おお、試せますよ。「JD～～。」「何？」私は言えます。

「ハイ、タコベル、そう来ると分かっていたよ。今回はうまくいかないよ、なぜかわかる？ 僕は、満たされているから。」ー(笑)ー「おお、デザート！ ほー、デザートが分かった？ お腹いっぱいです。

（満たされています。）聖霊に満ち溢れています。私は、肉の欲に食欲がありません。」

そういう意味です。私は強く、養われ、溢れるほど満たされていて、生ける水の流れのように力強いです。私を力づけ、可能にされ、強くされるのは聖霊の御力です。私は聖霊に満たされているので、そのようなことに興味はありません。私はキリストにおいて成熟しています。恵みにおいて成長しています。

そのことに脆弱ではありません。カポノ、上がってきてください。どうぞお立ちください。賛美と祈りで締めくくります。主よ、ペテロを再び感謝します。なんだか少し寂しくなりますね。大丈夫です。他の説教に彼を登場させますから、問題ありません。しかし、主よ、ペテロを感謝します。年月を越えて、彼の成長ぶりを見るだけでも、間違いなく、「ペテロの手紙」の彼は福音書のペテロではありません。おお、主は彼にそのような働きをなさいました。彼はこの力強い神の人に成長しました。私たちはその恩恵にあずかれます。

主よ、ペテロと、あなたの御言葉の中のこの御言葉に感謝します。主よ、私は祈ります。あなただけがお出来になるように、聖霊によって、ここから先は、あなたが引き継がれ、私たちの生活で現実のものとして、私たちの生活に適用し、私たちの心を祝福くださいますように。主よ、私たちは脆弱でありたくありません。見極め、警戒し、成長し、あなたの強さにある者たちの中に数えられたいです。

主よ、感謝します。私たちはあなたをととても愛しています。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7